



## Minami-hatoba\_1(Shirouyasu\_Suzuki)

2004-12-31

雪掻きました。

日が落ちて暗くなった頃、[「曲腰徒歩新聞」](#)の記事を書いていたら、表の道で雪掻きする音が聞こえたので、ドアを開けてみたら、前の家の若奥さんがシャベルで雪を掻いていた。「やー、どうも」と云って、わたしもシャベルで雪掻きました。家の脇が坂になっているので、明朝、元旦に滑って転ぶ人がいたら気の毒ですからね。

21:49:03 - shirouyasu - No comments

31日の雪午後3時



17:02:08 - shirouyasu - 3 comments

映像演劇学科の去年の卒業生と飲んで帰ってきた。31日午前1時17分

30日の22時前に、NHK時代劇「蝉しぐれ」を見ていたら、突然、高橋君から電話があって、代々木上原まで行くから会いたいということで、自転車で駅まで行って、落ち合い、高橋君、藤原君、中田さん、平竹君と近くのスナックでそれぞれアルコールを注文して一杯飲んだ。シャイな彼らの勤め先1年生の話を聞いた。ゲーム会社の二人、アニメ会社の一人、雑誌編集の一人。現実の気分がそれとなく伝わってきた。

丸坊主で、銀縁眼鏡のアニメの藤原君

「通勤途中で擦れちがったリストラ風情のおじさんが、おれの耳元で『やくざ』って云ったんだよね」

実話雑誌編集の中田さん

「いつも、鈍行で行くの」

藤原君

「うん」

中田さん

「やくざも鈍行に乗るの？」

ゲーム会社の平竹君

「鈍行やくざか、それ、いいじゃん」

わたし

「藤原君、それでアニメ、作ったら」

01:25:36 - shirouyasu - No comments

### Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

### Categories

[All](#)

[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

### Search

**2004-12-30****12月30日の午前中の家の窓**

21:45:52 - shirouyasu - No comments

**はじめてのBlog**

2004年12月30日の夜の9時過ぎ、今年流行のBlogを始めます。

中村美奈子さんがやり始め、渡辺洋さんも始め、気になって、どこかでBlogをやってみようと思っていたのですが、なんか不安でやれないでいたところ、灰皿町でもBlogが出来るとわかり、清水鱗造さんに頼んで、始めることになったのです。

ここでは「極私的」ということに徹したものを書いてみたいです。ということで。

21:13:52 - shirouyasu - 3 comments

**鱗造によるテストです**

11:31:28 - shirouyasu - 5 comments

**Login**

ログインID:

パスワード:

 このPCを他の人と共用する

Powered by

